



あけましておめでとうございます

謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年もよろしく申し上げます。

冬休み中、堂崎小の子ども達が大きな事故等なく過ごせたことをたいへんうれしく思います。保護者の皆様のおかげと感謝いたします。

さて、新型コロナウイルスが新しい型に変異して、全国的に、急激に感染が広がっています。今後もしばらく心配は続きそうです。南島原市内でも感染報告があっっています。学校では、今までやってきた感染対策(マスク着用, アルコール消毒, 換気, 給食黙食等)を再度確認し、徹底させていきます。保護者の皆様は、安心メールでもお知らせした以下のこと、

- ・登校前の検温, 健康観察をしっかりと行う。
- ・本人及び家族に風邪等の症状がある場合は登校させないで様子を見る。

ことについてご協力をお願いします。

なお、感染拡大予防のために欠席する場合は「出席停止」の扱いとなります。

3学期始業式

はじめに、先日亡くなられた小嶺忠敏さんの話しをしました。国見高校を率いて全国制覇を何度も成し遂げられた高校サッカーの名監督として有名な方です。日本代表選手も多数育てておられます。そして、ご存知の通り、堂崎小学校の卒業生です。

このような方が学校の先輩としていらっしゃることは、堂崎小の子どもたちにとって本当に誇らしいことだと思います。小嶺監督がよく話しておられた「まずは、返事・挨拶・後始末」ということを先輩のメッセージとして紹介しました。



続けて、吹き矢を使って実際に実験しながら、「続けることの大切さ」について話しました。私は今年が還暦なのですが(笑), この年齢になって「継続は力」の意味がやっと本当にわかったような気がしています。自分が好きで続けてきたことしか身につけていないなあ、と気づくことが最近多いのです。吹き矢は、矢に力をかける時間が長いほど遠くまで飛びます。なので、長い筒を使った吹き矢ほど遠くまで飛びます。「人間も吹き矢と同じで、一つのことを長い時間続けることで、上手になるし、目標に届くようになります。3日坊主では力つきません。ぜひ『継続は力』を忘れずに頑張ってください。」という話しをして終わりました。

<校長日記>

1月11日(火)

始業式で4年生が3学期に頑張ることを発表しました。年の初めに立てた自分の目標です。時々思い出しながら、目標達成に向けて努力を継続して欲しいと思います。



1月12日(水)

有家・西有家ライオンズクラブの方が来校されました。「ヘアドネーション」のチラシ配布のお願いでした。

ヘアドネーションというのは、髪を寄付してウィッグを作る活動だそうです。小児がんや脱毛症等で髪を失った子どもたちを応援したい！という松本市長様のメッセージもチラシに掲載されていました。

チラシを配布しますので、ご協力いただけるようでしたら、問い合わせ先へ連絡をしていただければと思います。



1月13日(木)

担任の先生方が出される通信を読んでいたら、子ども達の「冬休みの思い出」が紹介されていました。

- ・大掃除をがんばった
- ・クリスマスプレゼントをもらった
- ・鬼火をした
- ・もちつきをした
- ・親戚と会って遊んだ
- ・凧揚げをした
- ・焼き芋を焼いた
- ・恐竜博物館に行った etc...

冬休みならではの楽しい思い出がたくさんできていて、いいですね。

1月14日(金)

今日は体育館で「書き初め会」をする予定だったのですが、感染防止を考えて、予定変更しました。学年ごとに、実施日も分けて実施することとしました。

1月16日に予定されていた市P連研究大会も急遽中止となりました。

学校では2月15日には「入学説明会」を実施する予定ですが、例年行っている新入児童と5年生との交流会は中止することとしました。(保護者のみ出席で実施)

予想をはるかに超えて感染者が増えているので、今後いろいろな活動で予定の変更があるかもしれません。



堂崎小学校の児童数の変遷

本年度の堂崎小の児童数は96名です。しかし、以前は子どもがもつといたはずで、人数が多かった時期はいつ頃だろう？、何人いたのだろうか？と思って記録を調べてみました。

堂崎小学校のはじまりは、今から147年前の明治8年。最初は寺子屋のようなものだったと記録にあります。その頃の児童数の記録は残っていません。そこから歴史を重ね、児童数が最高を記録するのは昭和33年で、943名(分校を含む)。ざっと今の10倍くらいの人数の小学生がいたこととなります。多い学年だと、同級生が150人。今では考えられない人数ですね。

その後、平成元年が278名、平成26年(分校と合併した年)は101名と、だんだんと児童数が減ってきて今に至ります。しかし、近隣の学校と比べた時に、堂崎小は減り方がゆるやかだと思えます。しかも、うれしいことに来年度は増えます(笑)。

<校長日記>

1月17日(月)

校区在住の古賀高子さんがひまわり学級に読み聞かせに来校されました。古賀さんは元小学校の先生。「堂崎小の分校にも11年勤めました」ということでしたので、ご存知の方もいらっしゃると思います。以前から堂崎小に読み聞かせに来られていたようですが、コロナが流行して以来お休みされていたそうです。今回、フェイスガードをつけた万全の装備でいらっしゃいました。ひまわり学級の2人も紙芝居を楽しんでいました。古賀さんのご主人にもいろいろと学校にご協力いただいています。



1月18日(火)

県保険者協議会という団体から5・6年生(と保護者)へチラシ配布がありました。「生活習慣を整えましょう」「健診を受けましょう」という呼びかけでした。そのチラシに「長崎県民の一人当たり年間医療費は全国ワースト2位！」とありました。(健診受診率もワースト3位だそうです。)長崎県民の医療費支出が他県に比べて高いということをはじめて知りました。

『あなたが車を一台持っていて、一生その車にしか乗れないとしよう。当然あなたはその車を大切に扱うだろう。オイルを交換したり、慎重な運転を心がけたりするはずだ。ここで考えて欲しいのは、あなたは一生に一つの心と一つの体しか持てないということだ。常に心身を鍛錬しなさい。けして心身の手入りを怠らないようにしなさい。』

以前読んだ本の中にあったこの言葉に深く納得し、これをきっかけに健康寿命を延ばそうと取り組みはじめた単純な私でした(笑)。今の小学生は「人生100年時代」になるはずですから、今から自分の健康のことを考えることができればいいですね。

1月19日(水)

今朝の気温はほぼ0℃。今年一番の冷え込みでした。各教室にも暖房のスイッチが入っていました。子どもの頃はもちろん、教員になってからも教室に暖房などなく、寒さに耐えて授業していた頃を思い出します。いい時代になりました。今では“蛍の光、窓の雪～”は大昔の話でしょう。堂崎小の教室は日当たりがいいので、天気がいい日はあまり暖房を使わずにすんでいます。

1月20日(木)

今回、書き初め会は学年ごとに実施しています。ふだんは使わない条幅に毛筆で書くので、どの学年も字の配置に気をつけながらがんばっていました。



1月21日(金)

運動場でネット取り付けの工事がありました。

1ヶ所はソフトボール用のバックネットの張り換えでした。寒い中に頑張っているソフトボールクラブも新品のネットで気持ちよく練習できるはずです。

もう1ヶ所は、伐採したけやきの裏側部分です。けやきがあった頃は枝が張り出していてフェンスをつけられなかったのでしょうか。私は伐採がすんでから、フェンスが切れていることに気づきました(笑)。先生方も「そこ、なかったの?」という反応でした。なので、実際にボールが外に出ていく心配がありましたが、工事が済んで安心しました。



2月行事予定

- 2日(水) 委員会活動
 - 4日(金) なわとび大会
 - 9日(水) 集団下校
 - 10日(木) 有家中入学説明会(6年生保護者)
 - 11日(金) 建国記念の日
 - 15日(火) 入学説明会 *1年生 13:15 下校
スクールバス検討委員会
 - 16日(水) クラブ活動
 - 18日(金) 4年授業参観・学級部会
 - 22日(火) 6年生を送る会
 - 25日(金) 6年授業参観・学級部会
- *変更があるかもしれません
- *3/7~3/11 5校時下校
 - *3月17日(木) 卒業証書授与式
 - *3月24日(木) 修了式、離任式



給食週間、給食集会

今週は「全国学校給食週間」でした。毎年この期間は、各学校で給食について理解を深める活動を行っています。

堂崎小でも、給食ができるまでの様子をまとめたDVDを見たり、給食センターの方々やパン・牛乳でお世話になっている方々へお礼の手紙を書いたりしていました。また、今週の給食には郷土料理等が出され、【月】具雑煮・【水】鯨のごまみそがらめ・【木】ちゃんぽん・【金】浦上そば、ひよっつるの吸い物、をおいしくいただきました。

水曜日は「給食集会」。残念ながら、コロナ感染防止のために、校内放送での実施となりました。給食委員会の子ども達が、「給食のメニューは校長先生が作っている。○か×か？」(これに○と答える子もいたそうです(笑))などの給食クイズを出題してくれました。

「食育基本法」ができて20年くらいたちますが、健全な食生活は健康の基本です。よい食習慣を身につけたいものです。



ドローンを寄贈していただきました

株式会社ミナサポ様よりドローンの寄贈をしていただき、それを使って6年生がプログラミング学習を行いました。

ミナサポは、南島原市の副市長様が社長をつとめる会社で、旧長野小校舎に事務所を置き、本業の傍ら地域に貢献する様々な活動をやっておられます。そのミナサポ様より、ドローンを使ったプログラミング授業の提供をしたいという申し出があり、今回の授業となりました。

ミナサポの方が来校され、講師として計4時間の指導もしていただきました。子ども達は、タブレットでドローンを動かす命令を作り、実際に動きを確かめ、修正しながら、目的の動きができるようにしていく授業に取り組んでいました。とても楽しかったそうです。大学入学共通テストでは、近い将来に必須教科として「情報」が加えられるという方針のようですし、今回のような学習が今後さらに求められるものと思います。

「ひまわりテレビ」がこの授業の様子を取材にこられており、2月7日(月)に「ひまわりTimes」という番組内で放送されるそうです。土日に再放送もあります。ぜひご覧ください。



ドローン

<校長日記>

1月24日(月)

給食に具雑煮が出ました。永田京子先生は大村出身。大村の雑煮はたいへんあっさりしていて「島原の雑煮はすごくおいしい！」と思われたそうです。同感です。

1月25日(火)

有家中学校から「入学説明会は、感染防止のために保護者のみの出席で実施します」との連絡がありました。例年であれば6年生児童も中学校に出向き、授業や部活動を見学して中学生になる準備をするのですができません。

代わりになるかどうかわかりませんが、6年生は、先週、有家小学校の6年生とオンラインで交流会をしていました。こんなことが簡単に実現できる時代です。有家小の子どもたちに質問したり、逆に質問に答えたりしながら楽しい時間を過ごせたようでした。画面上ではありますが、交流したことで、「どんな人たちといっしょになるんだろう」という進学前の不安が少し解消されたかもしれません。



1月26日(水)

ジオパーク事務局の方が、「ジオパーク小・中学生研究展示発表会」の出品お礼に来校されました。夏休み作品展の自由研究の中から出品したのですが、展示が終わり、作品返却も兼ねての来校でした。参加賞(図書カード)もありましたので、出品した児童に渡しています。

1月27日(木)

体育の授業だけでなく、休み時間にもなわとびの練習を頑張っている子ども達がたくさんいます。「なわとび」は、社会に出てしまえば、できなくて困るというものではありません。では努力しなくていいのかと言えば、そうではないと思っています。できないことを練習してできるようになる。そんな小さな成功体験の積み重ねが、自分の自信になり、自己肯定感を高めることにつながるからと思うからです。堂崎小にそんな努力する子がたくさんいることはうれしい限りです。来週のなわとび大会は全校一斉ではなく分散方式でやる予定にしていますが、コロナ感染の状況次第でどうするか…。

1月28日(金)

このところ、「家族が発熱しているので、本人は元気ですが登校を控えます」というような連絡が学校へ届いています。連日、市内でもコロナ感染が報告されている中、感染を広めることになったら、と考えてのことと思います。このように、万が一のことを考えて登校を控えるという判断をさせていただいていることに感謝の言葉しかありません。感染状況が落ち着くまでは、引き続き、慎重な判断、行動をお願いできればと思います。なお、お知らせしていたように、この場合も「出席停止」の扱いとなります。

市役所水産課からボールペンが届きました。「海洋漂着物の発生抑制啓発グッズ」ということです。2年生以上に配布をしています。